

安全データシート

製品名 70肥料消石灰

1.化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	70肥料消石灰
会社名	株式会社オクト
住所	栃木県栃木市沼和田町5番41号
電話番号	0282-25-0910
緊急連絡電話番号	0283-84-1522
FAX番号	0282-25-0912

2.危険有害性の要約

強アルカリ性で目に入ると、最悪の場合、失明の恐れ

GHS分類

物理化学的危険性	可燃性固体	区分外
	自然発火性固体	区分外
	自己発熱性化学品	区分外
	水反応可燃性化学品	区分外
	酸化性固体	分類できない
	金属腐食性物質	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分外
	急性毒性(経皮)	分類できない
	急性毒性(吸入:粉じん)	分類できない
	皮膚腐食性・刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性	区分1
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分1(呼吸器系)
	特定標的臓器毒性(反復暴露)	区分2(肺)
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性(急性)	分類できない
	水生環境有害性(長期間)	分類できない

絵表示又はシンボル



注意喚起語
危険有害性情報

危険
皮膚刺激
重篤な眼の損傷
呼吸器系の障害
長期又は反復暴露による呼吸器系の障害

注意書き

安全対策

適切な保護具を着用する。
適切な保護眼鏡、保護面を着用する。
粉塵、ヒュームを吸入しない。
この商品を使用する際、飲食又は喫煙をしない。
取り扱い後はよく手を洗う。

応急処置

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗う。
皮膚に付着した場合、汚染された衣服を脱ぐこと。
汚染された衣服を再使用する前に洗濯する。
目に入った場合、水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続け、医師の診断を受けること。
皮膚に付着した場合、皮膚刺激が生じた場合、医師の診断を受けること。
気分が悪いときは、医師の診断を受けること。

保管

施錠して保管する。

廃棄

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3.組織、成分情報

化学物質

単一製品・混合物の区分	単一製品
化学名又は一般名	水酸化カルシウム(Calcium Hydroxide)
化学式	$\text{CaH}_2\text{O}(\text{Ca}(\text{OH})_2)$
官報公示整理番号	化審法(1)－181
CAS番号	1305－62－0
分類に寄与する不純物及び安定化添加物	分類に寄与する不純物は含まない。

4.応急措置

吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移動し、鼻をかませ、うがいさせる。
気分が悪いときは、医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合	流水にて十分に洗い流す。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断を受けること。
目に入った場合	多量の清水で10分以上注意深く洗い、直ちに医師の診断を受けること。
飲み込んだ場合	速やかに口をすすぎ、直ちに医師の診断を受けること。

5.火災時の措置

本製品自体は不燃性

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

保護手袋、保護メガネ、長靴、防塵マスク等の保護具を着用する。

環境に対する注意事項

河川等に排出され、環境に影響されないよう注意する。

回収、中和

漏出、飛散した場合には、掃除機、スコップ、箒等によりできるだけ粉体の状態で回収し、廃棄まで容器で保管する
回収品は13.廃棄上の注意に従い廃棄する。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

皮膚に付いたり、粉塵を吸入しないよう適切な保護具を着用する。

局所排気・全体換気

局所排気装置を使用するか、換気のよい場所で行う。

保管

保管場所

湿気を避けて保管すること。

容器包装資材

紙袋、ポリ袋、フレコンなど

8.ばく露防止及び保護措置

管理濃度

設定されていない

許容濃度

ACGIH(2005年版) TLV-TWA 5mg /m³

設備対策

粉塵が発生する場合には、局所排気を設置する。

保護具

呼吸器の保護具

防塵マスク

手の保護具

保護手袋

眼の保護具

保護メガネ

皮膚及び身体の保護具

保護衣、安全靴等

衛生対策

取扱い後はよく手を洗うこと。

9.物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など

白色粉末

pH

12～13

融点・凝固点

580℃ (分解してCaOを生成)(CaO融点:2570℃)

引火点

不燃性

比重(密度)

2.2

溶解度

水に微溶

自然発火温度

不燃性

分解温度

580℃

燃焼性

不燃性

10.安定性及び反応性

安全性

大気中で炭酸ガスを吸収し、漸次炭酸カルシウムとなる。

危険有害反応可能性	加熱すると分解し、酸化カルシウムを生じる。
避けるべき条件	酸類と反応し発熱する。強酸化剤と反応する。
混触危険物質	湿気を避けて保管する。
危険有害な分解生成物	弱酸化剤、酸類。
	酸化カルシウム

11.有害性情報

急性毒性	経口:ラットのLD ₅₀ =7340mg /kgに基づき区分外 経皮:データなし 吸入(粉塵):データなし
皮膚腐食性・刺激性	皮膚刺激性あり(区分2)
眼に対する重篤な損傷・刺激性	目に対して刺激性あり、最悪の場合、失明するおそれ(区分1)
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器感作性:データなし 皮膚感作性:データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	呼吸器、気道を刺激し肺水腫を引き起こす可能性あり 区分1(呼吸器系)
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	長期又は反復ばく露による肺の障害のおそれ 区分2(肺)

12.環境影響情報

環境影響	接触水はpH12～13を呈することから、環境への流出を避ける。
生体蓄積性	水性環境急性有害性 データ不足のため分類できない 水性環境慢性有害性 データ不足のため分類できない
残留性、分解性	データなし
土壤中の移動性	データなし

13.廃棄上の注意

残余廃棄物	都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
汚染容器及び包装	内容物を完全に除去し、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

14.輸送上の注意

国際規定	
海上規制情報	IMOの規定に従う。
UN No.	3262
Proper Shipping Name	CORROSIVE SOLID,BASIC,INORGANIC,N.O.S
Class	8
Packing Group	III
Marine Pollutant	Not applicable
航空規制情報	ICAO/IATAの規定に従う。

UN No.	3262
Proper Shipping Name	Corrosive solid,basic,inorganic,n.o.s
Class	8
Packing Group	III
国内規定	
陸上規制情報	非該当
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
国連番号	3262
品名	その他の腐食性物質(無機物)(固体)(アルカリ性のもの)
クラス	8
容器等級	III
海洋汚染物質	非該当
航空規制情報	
国連番号	3262
品名	その他の腐食性物質(無機物)(固体)(アルカリ性のもの)
クラス	8
等級	III
特別な安全対策	移送時にイエローカードの保持が必要。

15.適用法令

労働安全衛生法	名称等を通知すべき有害物 (法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)
船舶安全法	腐食性物質 (危規則第2, 3条危険物告示別表第1)
航空法	腐食性物質 (施行規則第194条危険物告示別表第1)
海洋汚染防止法	有害液体 (D類 110水酸化カルシウム)
港則法	腐食性物質、等級3の場合を除く

※この製品安全データシートは各種の文献などに基づいて作成しておりますが、必ずしも全ての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いには十分に注意して下さい。また、含有量、物理/化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。